



あらゆる賞賛は、世界、宇宙の主であられるアッラーのもの。アッラーは、しもべが主を心から思っている行為を受け入れられる。アッラーは、比べ得る何ものも存在しない唯一者であられる。私は、アッラーの外に崇拝する存在はないことを証言し、また、ムハムマドは、アッラーのしもべであり、使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・家畜章において述べておられる。

「…礼拝の務めを守り、アッラーを畏れなさい。…」(6章 72節)

礼拝する者とは、アッラーを心に留め、クルアーンの聖句を暗唱し、高い位階をめざし、主の御命令を堅く守る者のことである。アッラーは、クルアーン・ターハー章において述べておられる。

「…われを心に抱いて礼拝の務めを守れ。」(20章 14節)

礼拝に際し、主の御前であることを感じなさいということである。それ故、礼拝する者は、タクビール（神は偉大なり）と唱え礼拝を始める。礼拝する者は、至高のアッラーが全能であられ、他の何者にも優るということを心から思い、「アッラーフ・アクバル」と唱えなさいということである。礼拝する者は、タクビールの後、謙虚な心で、開端章を唱える。そして、主を讃え、主の慈悲を求め、主のお導きを請い願う。アッラーは、そうした礼拝に応えられ、礼拝する者の願いを聞き届けられ、彼らを御赦し下される。礼拝する者は、開端章に続いて聖クルアーンの幾つかの章句をその意味を熟考しつつ唱えた後、ルクア（屈礼）しながら主の栄光を讃え、主の偉大で至高であられることの証言として、「スプハーナ・ラッピル・アズィーム（莊嚴なるわが主に栄光あれ）と3回唱える。礼拝する者が頭を上げる時、「アッラーは、称賛する者を聞き入れ給う。」と唱える。この意味は、アッラーは、しもべたちが述べる称賛の言葉を聴き給い、礼拝に応じて下されるということである。

信者たちよ。礼拝する者は、礼拝の間へりくだってサジダし、主の栄光を讃え、「スプハーナ・ラッピル・アーラ（至高の主栄光あれ）」と唱える。アッラーは、クルアーン・凝血章において述べておられる。

「…一途にサジダして（主に）近付け。」(96章 19節)

アッラーの御使いSAWは、述べておられる。「最も主に近い者とは、礼拝のサジダの間に主に懇願する者である。」また、礼拝の中で、タシャッフド（信仰告白）のために座している時、信者は、最高の賛辞と献身的な祈りを以って至高のアッラーを讃えることが求められている。また、預言者ムハンマドSAWと、すべての信仰篤いアッラーのしもべたちへの祝福と平安とを祈願することであり、加えて、何なりと、望む事柄を実現頂けるように乞い求めるのである。そして、タシャッフドの後に、以下のように唱えるのが良いとされている。それは、「アッラー



よ。私が過去におかした罪と、これから犯すであろう罪、公然と、また、密かに犯した罪、定められた法を超えた罪、そして、**あなたさま**が私よりも御存知であられる罪を御赦してください。**あなたさま**は、未来と過去の人々を御創くりの御方です。**あなたさま**以外に崇められるべき何者もありません。」 礼拝する者は、締めくくりとして、至高の**アッラー**への謙遜な**サジダ**を以って礼拝を終えた後に、**サラーム**を唱え、聖典**クルアーン**の章句を思い浮かべ、**アッラー**の美名を唱える。このようにして、礼拝を終えたならば、良き信者の心は、静寂と幸福で満たされ、生まれて以来の罪の清算が始まるのである。礼拝は、行う刻限が定められている**イスラーム**の大事な柱であり、**アッラー**は、**クルアーン・婦人章**において述べておられる。

「…誠、礼拝には、信者に対し定められた時刻の掟がある。」(4章 103節)

**アッラー**の御使い**SAW**は、述べておられる。「**アッラー**は、5回の礼拝を定められた。誰かが礼拝のためにきちんと**ウドゥー**を行い、時刻を守り、きちんと**ルクア**と**サジダ**とを行うならば、**アッラー**は、きっと、その者の過ちを御赦し下される。」 それ故、我々は、老いも若きも、男性も女性も、礼拝の務めを守ろうではないか。

預言者**ムハムマド**、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当な**カリフ**、**アブーバクル師**、**ウマル師**、**ウスマーン師**、**アリー師**と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

**アッラー**よ。礼拝を正しく行い、**アッラー**を讃え、多くの祈願をする者であるように御導き下さい。

**アッラー**よ。**あなたさま**を愛し、預言者さま**SAW**を愛する者であるように、御導き下さい。

**アッラー**よ。何時でも**あなたさま**を顧みて感謝し、満足を知る者であるように御導き下さい。

**アッラー**よ。正しい道を歩む忍耐強い者であるように御加護下さい。

**アッラー**よ、私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

**アッラー**よ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。 **アーミーーン**